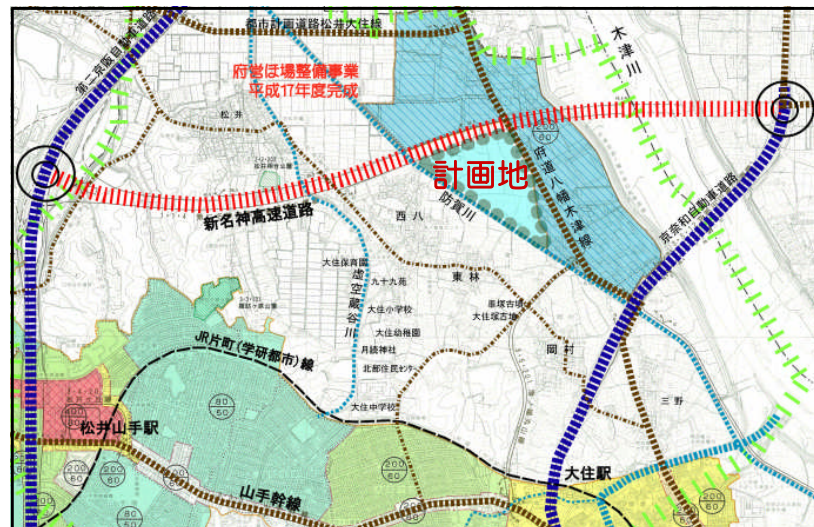


・「平成23年11月4日 京都府山城北土木事務所に河川改修早期実現の要望」

3/3



準備委員会正副会長、京田辺市建設部長等で訪問したもの。京都府山城北土木事務所長、同企画調整室長、同河川砂防室長同席のもと、所長から、地域が一丸となった要望があれば、早期の河川改修を上にもあげやすい、とのアドバイスがありました。計画区域の一体化は最善の選択であり、同意率の向上が望ましいとは、府市共通の要望です。

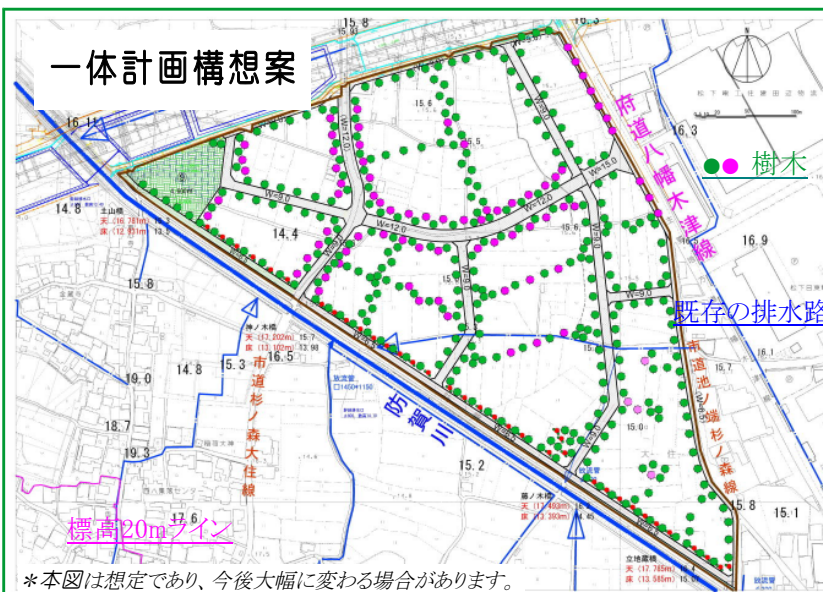
・「平成23年11月より埋蔵文化財発掘調査」

調査は新名神高速道路建設地について順次進められています。



・「平成23年12月4日 新名神起工式とまちづくりシンポジウム」が開催されました。

※こうした流れの中で、「準備委員会」は、下図区域として実現を図る方向性を10月20日役員会にて確認しました。当該事業の意義と目的並びに効果を最大限に発揮するためには、図の「一体計画構想案」計画とすることが望ましい、として引き続き関係者の理解と協力を求め、ご意見を伺いながら進めます。（下図は現段階の想定案です）



計画区域面積は約 15.3ha 余です。

- ・府道沿道には飲食サービス店舗なども立地できるように検討します。
- ・地区全体は工業ゾーンとして、クリーンな製造業、食品加工業（除く食肉加工）等も誘致できるよう計画検討並びに協議を進めます。
- ・建築高さや造成の高さは周囲と調和させ、緑の中の工業団地づくり実現に向けて検討します。
- ・河川や府道等の改良が前進するよう更に検討や協議を進めます。

大住土地区画整理組合設立準備委員会機関誌

平成24年1月1日発行 第五号（新年号）

しんおおすみ

編集 大住土地区画整理組合設立準備委員会

発行 会長 小田 壽樹

事務局 牧草コンサルタンツ(株) 内

京田辺市東西神屋 28 番地の 1 0774-62-3448

『年頭のご挨拶』

大住土地区画整理組合設立準備委員会
会長 小田 壽樹

辰年の始めにあたりご挨拶を申し上げます。前任の芝裕一さんから会長職を引き継いでほぼ一年がたちました。それまでの積み上げの上に立って実質的な計画づくりを進め、同意書のとりまとめについても、準備委員会、市、事務局と三者が一体で諸問題に適切に対応するべく取り組んでおります。肥沃な農村地帯が少しずつ変貌を遂げていきますが、残すべき緑を残し、残す緑の質を高めることが必要です。一方、年々営農環境が厳しくなっていく農地について、残すべきは残る場所で残し、転用を図るべきはきちんとした計画のもとで地域に喜ばれる形とすることも求められています。私が当計画に前向きに携わろうと決心した理由のひとつです。本年はまさに正念場です。

生活を守り、農村を維持し、孫子の代に誇れるまちづくりを進めるためにご支援をよろしくお願い申し上げます。

牧草コンサルタンツ(株) 代表取締役
事務局長 牧草 弘師

明けましておめでとうございます。当社が、業務推進のパートナーとしてご指名を頂いたのは、東日本大震災の直後で、わが国を含む世界経済の激動期でありました。当社は、地域に密着した建設コンサルタントとして、人間関係を最大限に活かしてこの業務を完成に導いていきたいと決意を新たにしています。

着手して8ヶ月余を経過しました。周囲の状況を考慮したとき、平成25年3月までに認可申請を提出することは至上命令だと認識しています。その方向に向けて作業を積み上げる大切な年と位置づけています。この1年、一刻一刻にすべての成否がかかっているとの思いをこめてまいります。当然のことながら、企業誘致も視野において事業推進に取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくご指導ご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

※平成24年の取組（概要）

- ・対象地区整備に必要な手続き図書の作成を開始し協議環境を整えていく計画です。
 - ・環境への負荷を軽減する事業計画を策定し、関係機関との設計協議を進めます。
 - ・府市、関連団体の支援のもと、立地を誘導する企業像の具体化を図ります。
 - ・これらの事業は、対象地区内権利者の合意と負担（減歩）のもとに行うことから、権利者全員の同意を得ることを最優先といたします。
 - ・このため地域住民、自治会等との協議も行いながら必要な検討作業を推進します。
- こうした積み重ねの上に平成25年の早期には新しい「大住工業団地」を形成する土地区画整理事業に具体的に着手できるよう努力を重ねてまいります。

- ・「昨年2月頃の防賀川」 下流部第二京阪自動車道路沿い改修工事区間等
改修工事竣工間近（木津川方面を望む）



八幡排水機場（国と改良区施設）



(上流側の神矢排水機場と合わせて洪水を防止する。)

- ・田づくりが始まると、防賀川の水位も上がります。昨年は台風2号、同12号等により大住地域や木津川上流部への大雨もありましたが、防賀川は安定した状態でした。

防賀川沿いの水田地帯



普段の防賀川（農閑期）



「農繁期の防賀川 写真奥は松井堰と第二京阪自動車道路」



写真手前には東林堰があり、写真奥には松井堰があって、農繁期には水位を揚げて農業用水としての供給源を担っています。

新名神高速道路が建設されると、このあたりの景色は一変します。関連して、松井堰の撤去方策や、防賀川の改修、治水対策や環境対策の方針などについての検討もさらに進むことが期待されています。

- ・「1月～4月 総会、意向調査、覚書調印式等が実施された」



総会で新体制となった準備委員会では2月下旬に会員意向調査を行い、結果を受けて3月中旬には事業計画への取組を推進するために、認可に至るまでの事業パートナーとして牧草コンサルタンツ(株)を選任しました。

4月1日には、京田辺市役所3階会議室において市側担当を含む関係者立会のもとで準備委員会と牧草コンサルタンツ(株)間の覚書並びに作業指示書の調印式が行われました。

- ・「5月 準備委員会主催で説明会を開催」

5月7日から15日にかけて、事業の考え方や構想に係る説明会を開催しました。それまでの調査結果もあわせ、新しいまちづくりへの熱意と熟慮を再確認しました。

西八集落センター(5.7)



東林公民館(5.8)



岡村公民館(5.15)



(他に北部住民センター講堂(5.8)でも開催し、それぞれ説明と質疑応答を行いました。)

※この後、7月下旬には権利者意向確認書及び農用地除外申出書の説明、配布と回収の作業を開始し、9月始めに京田辺市長宛に同意書綴り（写し）を提出致しました。下は前後の活動の様です。

10月中旬の踏査



10月20日の合同役員会

